

長引く咳で来院される方が目立ちます。インフルエンザやコロナなど、ウイルスが原因の上気道炎は「風邪症候群」です。なぜによる咳は人体の防御反応のひとつで、喉などに進入したウイルスを排出しようとして咳をするのですから、それを薬で止めるのは得策ではありません。自律神経を整え、免疫を上げ、粘膜を修復する鍼灸治療で十分改善しますし、健康な人は自分の免

Vol.206

院長 関の

Face to Face

2025年8月1日発行

長引く咳、慢性閉塞性肺疾患



疫力で自然に治ります。咳止めには様々な副作用があるため長期服用は危険です。また長期に渡り効かないとすれば効果自体も疑う必要があります。これとは別に最近目立つのが「肺気腫」です。痰を伴う慢性的な咳が3ヶ月以上続き、だんだん息切れや呼吸困難につながります。肺気腫とよく似た疾患に慢性気管支炎があります。このふたつを併発す

る患者が多いことから併せて「慢性閉塞性肺疾患COPD」と呼びます。日本では毎年四人くらいのパースで増えているそうです。原因は喫煙や前回お話したような汚染された大気に暴露されることです。破壊された細胞は元に戻せない為、積極的な治療はありません。まずは診断が大切です。整体治療では呼吸に関わる筋肉を緩め、呼吸をしやすくします。鍼灸治療では自律神経を整え免疫を上げます。どちらも続けることで生活の質が保たれます。肺の疾患でお悩みの方は是非ご談ください。



関 修一（せきしゅういち）

健育会 東銀座整骨院・整体院・

鍼灸院・マッサージ院 院長

代替医療の総合治療院としての

確立を目指す。タイトルの「face

to face」は「患者さん自身と向き

合って患者さんの症状と闘う」ことを願ってつけた

※毎月一日の発行です